

明治ホールディングス株式会社 会社説明会

2023年3月17日

取締役専務執行役員 CSO 古田 純

1. 基本情報

2. 2023中期経営計画

3. 株主還元

100年にわたるイノベーションの歴史



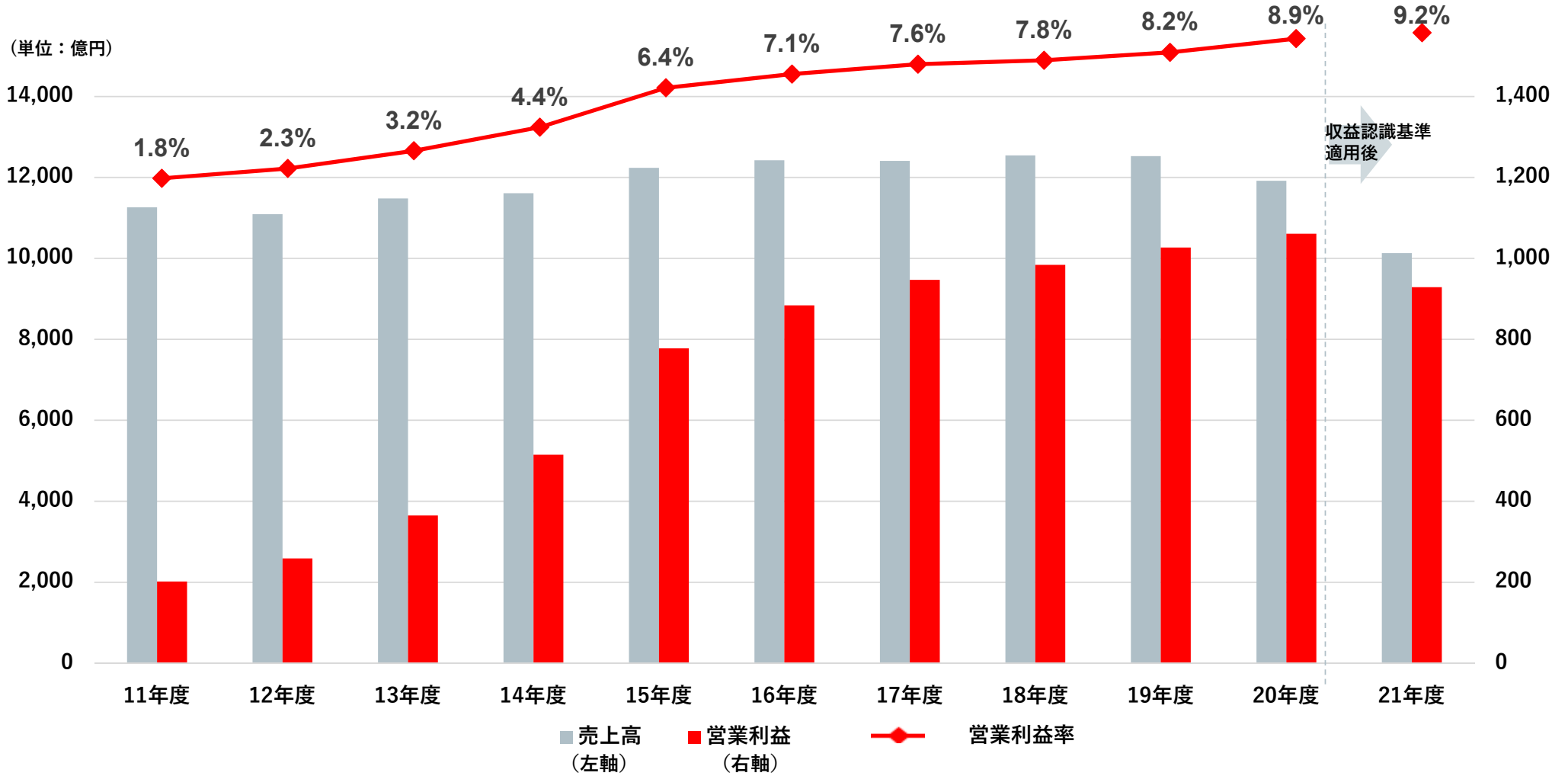
「栄養報国」



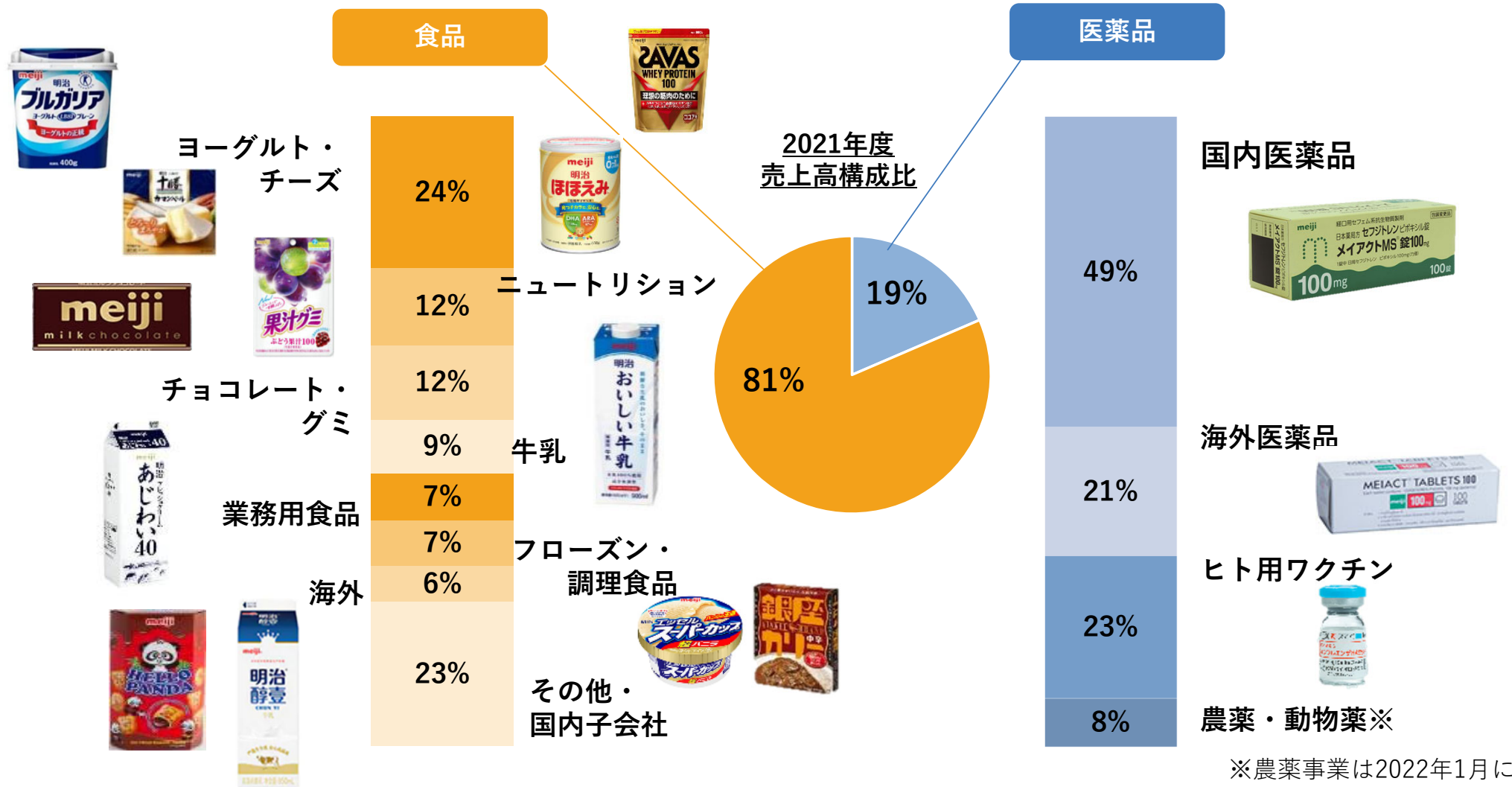
創業者
相馬 半治

1926		ミルクチョコレート			
1928		牛乳			
1923		育児用粉乳			
1946		感染症薬			

連結業績の推移



事業ポートフォリオ

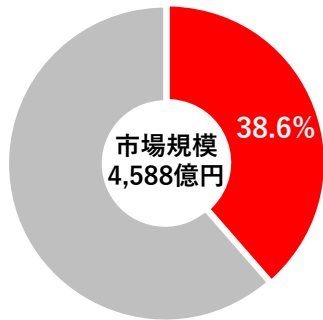


※農薬事業は2022年1月に譲渡

主要製品国内市場シェア（食品）

ヨーグルト

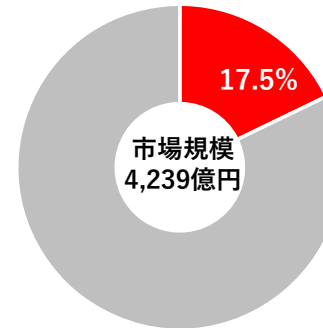
国内市場シェア 1 位



※シェア（2021年度）出典：インテージ社SRI+

牛乳

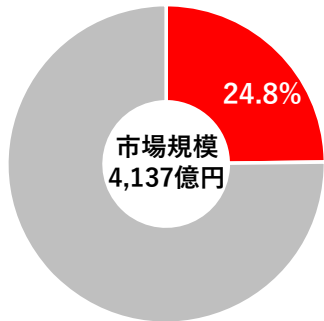
国内市場シェア1位



※シェア（2021年度）出典：インテージ社SRI+

チョコレート

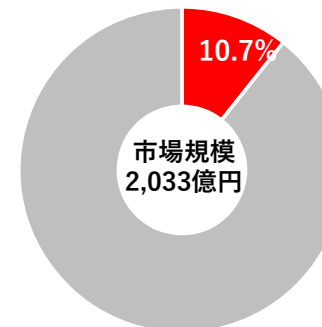
国内市場シェア 1 位



※シェア（2021年度）出典：インテージ社SRI+

チーズ

国内市場シェア 3 位

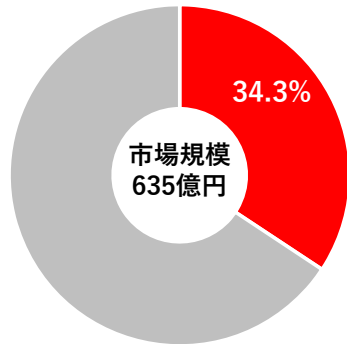


※シェア（2021年度）出典：インテージ社SRI+

主要製品国内市場シェア（食品）

プロテイン（粉末・顆粒）

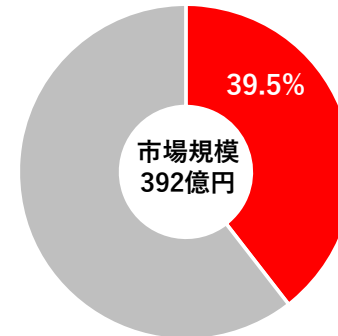
国内市場シェア 1 位



※シェア（2021年度）出典：当社調べ

乳幼児ミルク

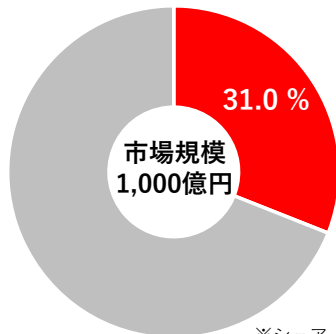
国内市場シェア 1 位



※シェア（2021年度）出典：インテージ社SRI+

流動食（市販向け除く）

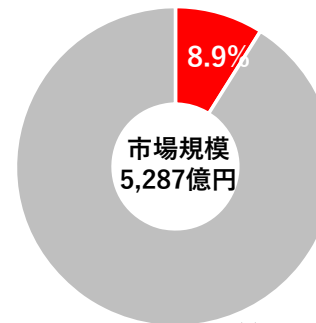
国内市場シェア 2 位



※シェア（2021年度）出典：当社調べ

アイスクリーム

国内市場シェア 7 位

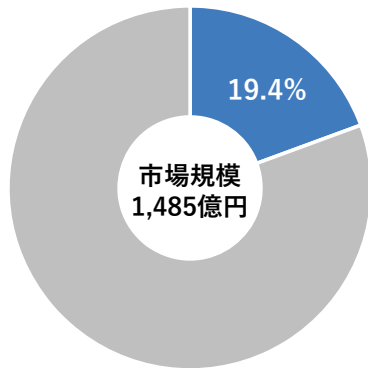


※シェア（2021年度）出典：インテージ社SRI+

主要製品国内市場シェア（医薬品）

全身性抗菌剤

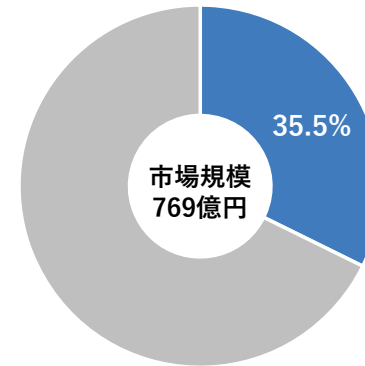
国内市場シェア 1位



Copyright©2022IQVIA
市場規模・シェア（21年度）出典：
IQVIA医薬品市場統計 JPM2022年3月MATを
もとに作成。市場の範囲は当社の定義による
※無断転載禁止

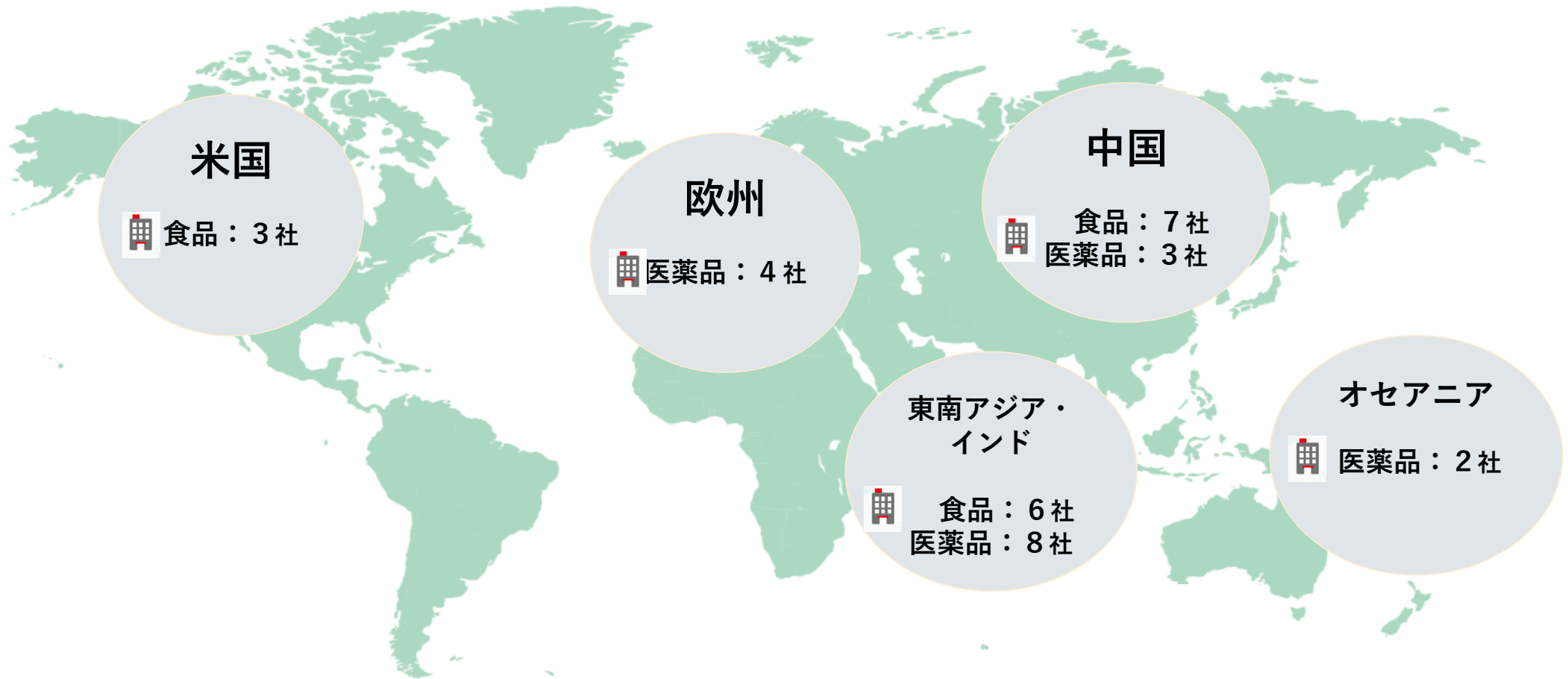
インフルエンザワクチン

国内市場シェア 1位



Copyright©2022IQVIA
市場規模・シェア（21年度）出典：
IQVIA医薬品市場統計 JPM2022年3月MATを
もとに作成。市場の範囲は当社の定義による
※無断転載禁止

明治グループの海外展開状況



グループ会社数は2022年3月末時点での連結対象および持分法適用会社数

ホームページリニューアル

健康にアイデアを
meiji



<https://www.meiji.com/investor/individual/>



<https://www.meiji.com/stories/>

本日の内容

1. 基本情報
2. 2023中期経営計画
3. 株主還元

2023中期経営計画（21年度～23年度）

コンセプト

明治ROESG[®]※経営の実践

利益成長とサステナビリティ活動の同時実現

重点課題

1. 事業戦略

食品

- ①コア事業の成長力の回復
- ②海外展開の強化

医薬品

- ①Meiji Seika ファルマ・KMバイオロジクスの一体運営推進（ワクチン事業の強化）
- ②CMO/CDMOの強化

全体

新領域への挑戦

2. ROIC活用による経営管理体制強化

3. 成長投資の継続と強固な財務基盤構築の両立

4. サステナビリティ2026ビジョンの着実な実行

※「ROESG」は一橋大学教授・伊藤邦雄氏が開発した経営指標で、同氏の商標です

2023中期経営計画～明治ROESG®経営の実践

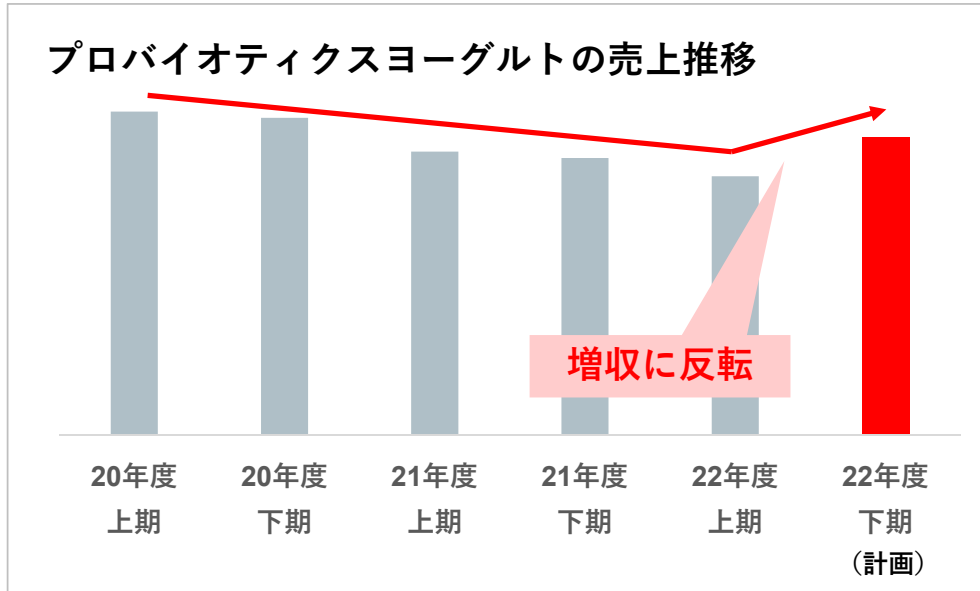
● 利益成長とサステナビリティ活動の同時実現



- ①健康寿命延伸
- ②たんぱく質摂取量
- ③インフルエンザワクチン接種率
- ④従業員エンゲージメントスコア
- ⑤健康志向食品、栄養付加価値型商品、超高齢化社会に貢献する商品の売上伸長率
- ⑥新型コロナウイルスワクチン・治療薬の開発成功と供給

食品：プロバイオティクスヨーグルトの再成長

- 機能訴求の強化によって売上トレンドの回復を図る



LG21

- ・ 機能性表示パッケージに変更

LG21乳酸菌が一時的な
胃の負担をやわらげる



R-1

- ・ 体調管理の必要性や機能イメージを訴求するCMを投入



脂肪対策ヨーグルト

- ・ 脂肪対策食品市場に新商品投入

2022年10月発売



食品：新たな菓子市場を開拓

● チョコレートに健康価値を付与



チョコレート効果

- ・チョコレートに健康価値を付与
発売から20年以上経過した
今も継続して成長

- ・善玉コレステロールが増加する
機能性表示食品「チョコレート効果プラス」
を新たに発売

2023年3月発売

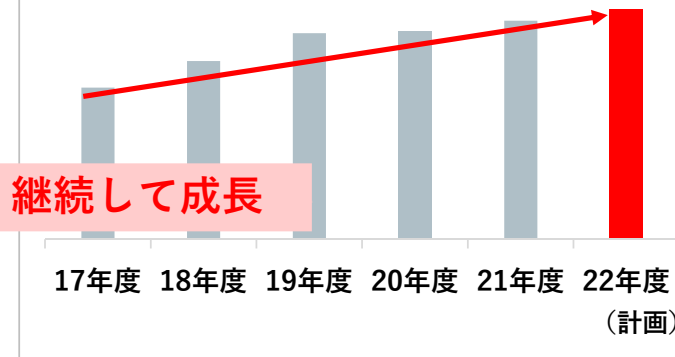


グミ

- ・噛むことの健康価値浸透
若年層によるSNSでの話題化で
近年市場が再拡大

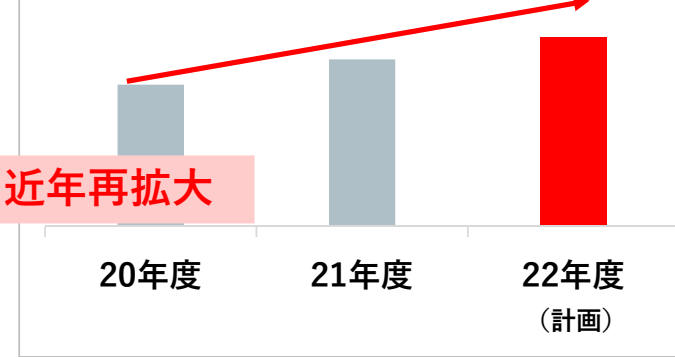


チョコレート効果の売上推移



継続して成長

グミの売上推移

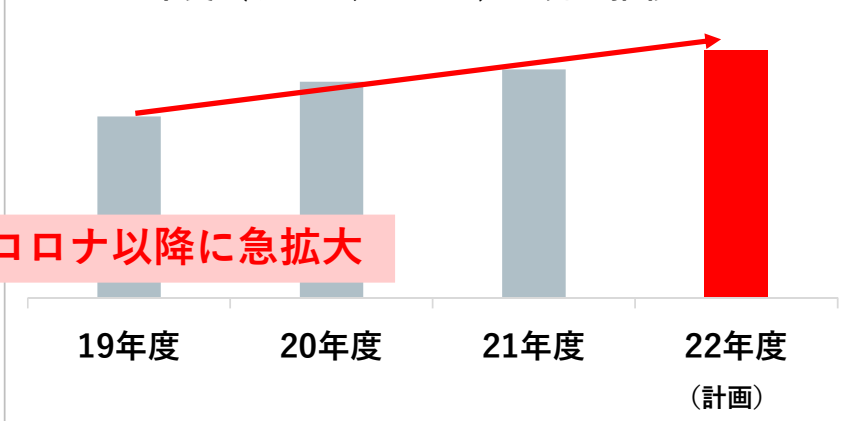


近年再拡大

食品：ニュートリション事業の成長

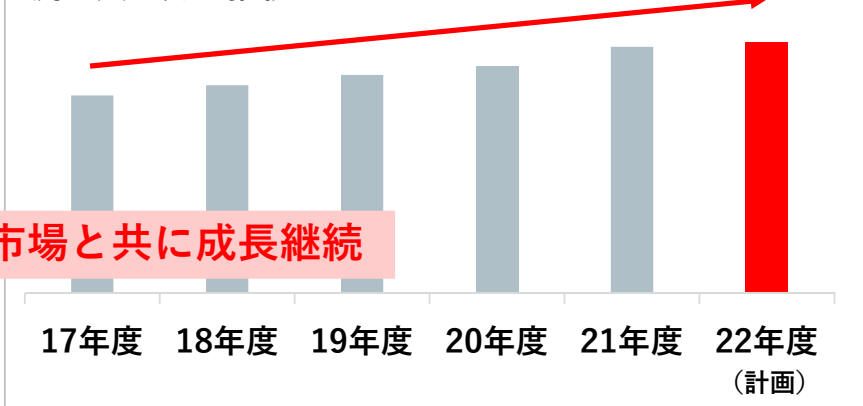
● 拡大する市場に健康価値を提供

スポーツ栄養（ザバス、VAAM）の売上推移



コロナ以降に急拡大

流動食の売上推移



市場と共に成長継続



スポーツプロテイン

- ・コロナ禍での運動不足解消ニーズにより、プロテイン市場が大きく拡大
- ・店頭販売ではトップシェア E Cにも注力し売上拡大を図る



流動食

- ・高齢化の進行、在宅要介護者の増加により、市販流動食市場は年々拡大
- ・国内トップブランド「明治メイバランス」で新商品を発売し、さらなる成長を目指す



食品：中国事業の強化

- 幅広い商品群で進出、生産能力を拡大中
 - 当社が強みを持つ商品群を展開
(牛乳、ヨーグルト、菓子、アイス、ザバス)
 - 新たに3工場を新設し、展開エリア
拡大と売上成長を目指す



2023年度末生産能力
(2020年度比・金額ベース)

牛乳・ヨーグルト	約 4 倍
菓子	約 2 倍
アイスクリーム	約 2 倍



食品：粉ミルクの海外展開

- アジアでの事業展開
 - 台湾明治食品
乳児用粉ミルクではトップクラスのシェア
 - メイジフードベトナム
出生数増、経済発展で市場成長
 - パキスタン、タイ、カンボジアにも輸出
- 欧州での事業展開
 - 明治フードヨーロッパ
ダノン社と協業し、
キューブタイプ粉ミルクをイギリスで発売



医薬品：ワクチン事業の強化

- 国内トップクラスのワクチン生産・開発体制

- インフルエンザワクチンシェア **No.1**

- パンデミック発生時には
新型インフルエンザワクチン **5700万人分**
を供給可能



- 明治グループだけが製造する **Only One製品** を多数供給



医薬品：ワクチン事業の強化

● 新型コロナウイルスワクチン開発・供給の取り組み

- ・ 副反応が少なく安全性の高い**不活化ワクチンを自社開発**

→ 40歳以下成人、18歳未満の小児向けに2023年度中の供給を目指す

- ・ 米国企業と連携し、**次世代型mRNAワクチンの供給**に向け取り組み中

→ 成人向けに2023年度中の供給を目指す



開発の様子



臨床試験の様子

健康価値領域での新たな挑戦

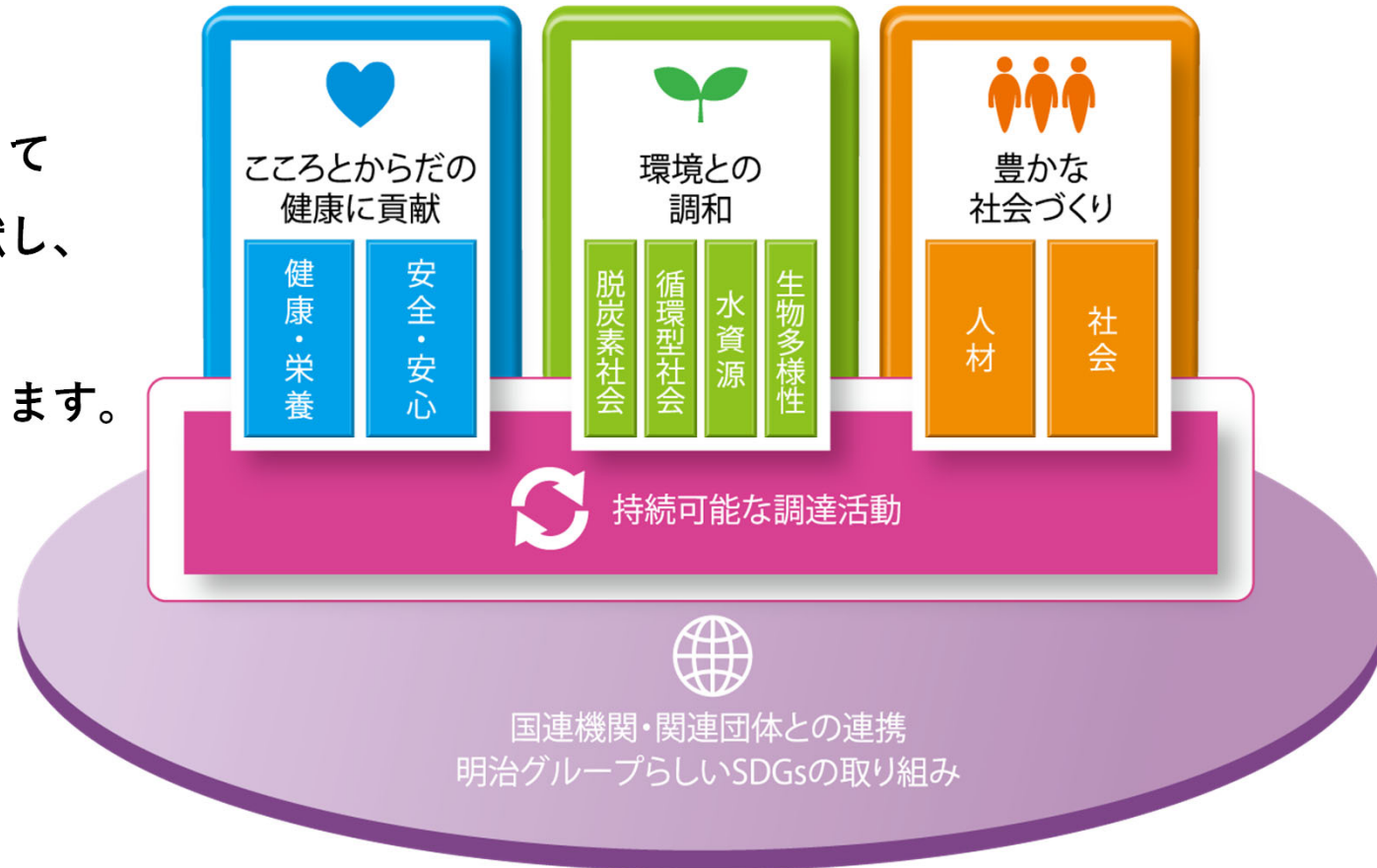
- 「抗老化」と「免疫増強」
2つのテーマで食と薬のシナジーを追求



明治グループのサステナビリティ

サステナビリティ2026ビジョン

明治グループは、
食と健康のプロフェッショナルとして
事業を通じた社会課題の解決に貢献し、
人々が健康で安心して暮らせる
「持続可能な社会の実現」を目指します。



カーボンニュートラル（CO₂排出ゼロ）達成に向けて

- 2030年度までにCO₂排出量を50%削減（2019年度比）
- 2050年度には実質ゼロ
- 太陽光発電設備の導入 12拠点まで設備導入完了、2023年度はさらに8拠点に導入



九州工場（2020年4月太陽光発電設備導入）

- 再生可能エネルギー由来電力の購入促進
2022年度中にグループ全体で再エネ電力比率が約10%となる見込み

環境負荷の低減に向けて

- 2030年度までにプラスチック使用量を25%以上削減（2017年度比）

プラスチック使用量削減



容器の軽量化

プロバイオドリンク容器
発売当初 13g→ 8.7g

ラベルレス商品



2022年8月発売
R-1 6本パック

カップの紙化



再生可能プラスチックの使用

バイオマスプラスチック配合
様々な商品で使用拡大



リサイクルPET樹脂

使用済ペットボトルから
新たに作成



2022年7月発売
5つ星習慣

2022年度業績見込み

● コストアップの逆風の中、主力品の売上回復に注力

(億円)		3Q累計実績		通期計画	
			前年同期比		前年同期比
連結	売上高	7,980	+3.7%	10,580	+4.4%
	営業利益	647	△18.1%	775	△16.6%
	親会社株主に帰属する当期純利益	472	△15.8%	620	△29.1%
食品	売上高	6,499	+3.8%	8,612	+4.3%
	営業利益	451	△26.9%	600	△21.0%
医薬品	売上高	1,487	+3.0%	1,975	+5.1%
	営業利益	210	+14.4%	200	+7.2%

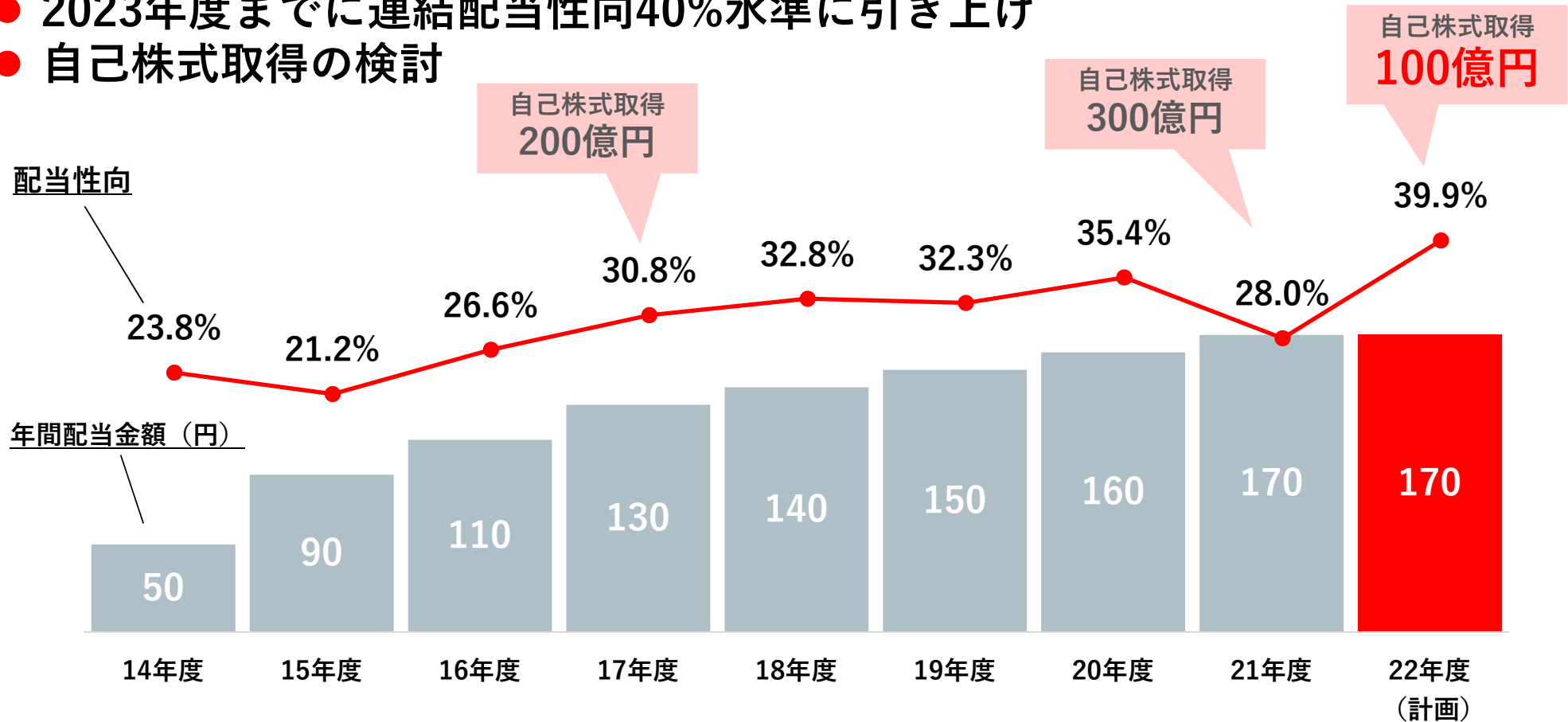
本日の内容

1. 基本情報
2. 2023中期経営計画
3. 株主還元

株主還元強化

2023中計還元方針

- 2023年度までに連結配当性向40%水準に引き上げ
- 自己株式取得の検討



注：2015年10月1日で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、上記数値はこの株式分割を反映しています

株式分割の実施と優待制度の変更

- 普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割（基準日：2023年3月31日）
- 株式分割に伴い、優待制度を拡充

現行 (2023年3月31日時点)		変更後 (2024年3月31日以降)	
ご所有株式数	優待品	ご所有株式数	優待品
—	—	100株以上 (現50株以上)	1,500円相当
100株以上	2,000円相当	200株以上 (現100株以上)	2,500円相当
500株以上	3,500円相当	1,000株以上 (現500株以上)	5,500円相当
1,000株以上	5,000円相当	—	—



2022年度の優待品
(500株以上3,500円相当)

100株以上の株式をご所有の株主さまを対象に、ご優待品（明治グループ製品詰め合わせ）を10月末ごろにお届け（基準日 3月31日）

健康にアイデアを meiji

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いいたします。
- 本資料に記載された業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料には、薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。